

南城市シェアサイクル実証事業委託業務業者選定に関する提案評価審査基準

1 審査方法

審査は、南城市シェアサイクル実証事業委託業務公募要領（以下「公募要領」という。）に示された参加資格の要件を満たしている全ての企画提案者に対し、審査項目ごとに採点を行い順位決定する。評価にあたっては、公募要領及び南城市シェアサイクル実証事業委託業務仕様書（以下「仕様書」という。）にて要求した条件等に対し、有益な提案がされているかを検証し評価する。なお、提案者が1者の場合においても、この審査基準に基づき委託可能かを判断する。

2 審査項目

選定委員は、以下に示す項目について、別紙「審査採点表」にて審査を行う。

- (1) 法人概要、実績及び体制
 - ・業務実績 同種・類似事業の実績はあるか
 - ・実施体制 管理責任者、担当者の体制は万全か
- (2) 仕様書等に対する提案内容の適格性
 - ・仕様書の業務内容で示された事項を満たし、具体的な実施手法が示されているか
 - ・提案内容の構造に矛盾が生じていないか。
- (3) 適正なスケジュール
 - ・業務内容等に具体性、実現性があり、業務の規模に対し、妥当な工程計画となっているか。
- (4) 見積価格の妥当性
 - ・企画提案内容に見合った見積額であるか。また、提案上限額以内であるか。
 - ・令和9年度以降の保守積算見積書へ詳細な記載はあるか。
- (5) その他有益で新たな提案
 - ・仕様書に記載されていること以外に、有益で新たな提案があるか。

3 評価のポイント

- (1) 申請者は、参加資格等、本業務を遂行するために必要な能力を有しているか。また、業務実績等は十分か。
- (2) 提案内容は的確で、利用者の利便性が高い状況であるか。
- (3) 本業務への理解度が高く、計画性や実現性が感じられるか。
- (4) 提案仕様以外に有益な提案がなされているか。

4 項目別の評点

- (1) 各審査項目に、以下で示した点数を付け、それに対し、重要度に応じて重要度倍率を乗じた点数を評価得点とする。ただし、要件を満たさない、提案自体がない場合は得点なし（0点）とする。

- 提案内容が優れている。・・・・・・・・・・ 3点
- 提案内容が一般的である。・・・・・・・・・・ 2点
- 提案内容が劣っている。・・・・・・・・・・ 1点
- 提案がない。要件を満たさない。・・・・ 0点

(2) 重要度倍率は次のとおりとする。

- 重要度A (最重要項目)・・・・・・・・ 3倍
- 重要度B (重要項目)・・・・・・・・ 2倍
- 重要度C (一般項目)・・・・・・・・ 1倍

5 順位の決定

選定委員が提出した項目ごとの採点を集計し、総合得点の高いものを受注候補者に選定する。ただし、総合得点が高点の場合は選定委員会において協議を行い選定する。

提案者が1者の場合は、採点を集計し、選定委員で協議を行い適否を決定する。

6 基準得点 (受託候補者決定の基準となる最低得点)

基準得点は企画提案事業者の合計得点が受託候補者となるに値するか判断するために設けるもので、本業務における基準得点は以下のとおりとする。

基準得点：54点 (90点(満点)×60%) × 5名=270点

【参考】90点×5名=450点 (満点)